

2015-A			
国際機関名 (英語略称)	対日理解促進交流プログラムの要請書を取付け済みの国際機関等(ASEAN事務局, SAARC事務局等9機関)		
英文名称	Japan Friendship Ties Programs		
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <b>その他</b>
【所管官庁担当課・室名】外務省大臣官房対日理解促進交流室			
【当該国際機関等の本部所在地・活動目的等の概要】 対象国・地域において、経済、社会、文化的な発展の推進や、政治・経済の安定の確保等の域内問題に関する協力、関係者のネットワーク作りを目的とし、青少年を含む交流プログラムや専門家が参加する会議・研修等を実施し、日本と対象国・地域の国民間の発展、相互理解の促進を推進している。			
【当該国際機関の財政(2015年予算)】(千円) <span style="float:right">出典:【注1】</span>			
当該年度の総収入額: 2,876,880(関係国際機関等への同プログラムに拠出した予算額)			
当該年度の総支出額: 2,736,260(関係国際機関等への同プログラムに拠出した予算額の支出額)			
次年度への繰越額: 140,620(関係国際機関等への同プログラムに拠出した予算額の残余金)			
会計検査機関名: 各国際機関等により異なる			
【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2015年のもの)】 <span style="float:right">【注2】</span>			
	国 名	金額(千円単位)	拠出率(%) (注)
	日本	4,947,128	100
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2015年のもの)】			
	国 名	金額(千単位・通貨)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【当該国際機関で働く邦人職員】(2016年8月調査)			
邦人職員数	65人	当該機関全体の職員数	4,148人
うち幹部以上	うち14人	及び邦人職員が占める率	2%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
日韓文化交流基金理事長	小野 政昭	元メキシコ大使	
日韓文化交流基金事務局長	余田 幸夫	元済州総領事	
日露青年交流委員会事務局長	渡邊 修介	元アゼルバイジャン大使	
モーリーン・アンド・マイク・マスフィールド財団	倉本 照代	東京事務所ディレクター	
日中友好会館会長	江田 五月	元中国大使	
日中友好会館副会長	宮本 雄二		
日中友好会館理事長	武田 勝年		
日中友好会館常務理事	荒井 克之		
日中友好会館理事	青樹 明子		
日中友好会館理事	片寄 浩紀		
日中友好会館理事	布施 知子		
日中友好会館理事	吉田 隆司		
日中友好会館 事務局長	小島 義夫		
日中友好会館 総合交流部長	荻原 芽		
【注:当該国際機関の会計年度】 国際機関等の会計年度は1月から12月又は4月から翌年3月となっている。 【注1】各機関からの報告に基づく。 【注2】対日理解促進交流プログラムは、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、対外発信の強化し、外交基盤を拡充するために外務省が推進している事業。同事業の経費は、対象国・地域を管轄する国際機関等からの要請に基づき、我が国のみが拠出している。			